

取り組み紹介書

施設 和合せいれいの里	職場 地域包括支援センター和合 氏名 西澤 基示郎 (団体の場合は団体名 地域包括支援センター和合・細江・高丘・北浜)
----------------	---

<p>【タイトル】 安全な民生員活動への支援と要支援高齢者へのマスク配布</p>
<p>【課題】</p> <p>① 新型コロナウイルス感染拡大の中、マスクの不足による民生委員活動の安全性確保の必要性がある。</p> <p>② 在宅要支援者において、マスク需要がありながら市中のマスク不足により購入ができない状況があった。</p> <p>③ 障害者就労支援事業所において、作業訓練メニューの減少があった。</p>
<p>【目的】</p> <p>地域における友愛訪問（戸別訪問）等民生委員活動における、新型コロナウイルス感染のリスクを軽減し、活動の継続性を確保する。また、聖隷内障害者就労支援施設における作業訓練メニューの減少時期でもあり、マスク作成を作業訓練メニューとした。</p>
<p>【方法】</p> <p>① 2020年3月～聖隷内障害者就労支援事業所（4事業所）に、浜松市内4包括（和合・高丘・北浜・細江）圏域内に配布用の布製マスクの製作を依頼。</p> <p>② 在宅福祉サービス事業部にて、作成マスクの買い上げ 511枚 127,750円</p> <p>③ 2020年5月～6月 地域包括支援センター各包括において、圏域内民生委員にマスクを配布した。</p>
<p>【結果・効果】</p> <p>民生委員の中にも、不織布マスクの購入困難な方もおり、友愛訪問時に活用していただき、「訪問時に要支援者・民生委員双方に感染リスクが軽減される」とのお言葉をいただいた。地域の要支援者のうちマスクが購入されていない方に民生委員からマスクを配布していただき、感染予防に寄与できた。</p> <p>また、作成について障害者就労支援事業所の紹介を行うことにより、障害者の地域貢献についても理解を促すことができた。</p> <p>障害者就労支援事業所においては、作業訓練メニューとして活動ができたと同時に、作業工賃の確保もなされた(127,750円)。また、マスク製作は、介護現場用マスクや事業部職員用マスク作成へと発展し、関東から沖縄まで全国の法人内事業所へ発信されている。</p>
<p>【事業団内外の表彰実績（表彰されている場合）】</p>

※人命救助などの場合は添付の必要はありません。